九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

コンピューター・コーポラ利用による現代英米語法研究（2）：‘in（the）light of’におけるtheの出没について

田島，松二
九州大学言語文化部

許斐，慧二
九州工業大学

https://doi.org/10.15017/4293

出版情報：言語文化論究. 4, pp.31-36, 1993-02-19. 九州大学言語文化部
バージョン：
権利関係：

コンピューター・コーポラ利用による現代英米語法研究(2)
——‘in (the) light of’における the の出没について——

田 島 松 二・許 斐 慧 二*

I

アメリカ英語の言語資料 Brown コーパス（The Brown Corpus）とイギリス英語の言語資料 LOB コーパス（The Lancaster－Oslo / Bergen Corpus）を利用した一連の研究で，今回取り上げるのは「…を考慮して；…に照らして；…の観点から」等の意味を表す成句‘in (the) light of’における定冠詞 the の出没の問題である。（この一連の研究の目指すところと両コーパスの概略については別稿で述べているので，そちらを参照されたい。[1]）

II

やや堅い言い方ではあるが，書きことばではそれほど珍しいとは言えない成句に‘in the light of’という前置詞句がある。この成句は大別して2つの意味を表す。ひとつは‘considering ; taking into account ; in view of’であり，もうひとつは‘from the point of view of’である。今日最も一般的な意味は前者，つまり「…に照らして；…に鑑みて；…を考慮して」であり，後者の「…の観点から」はそれほど一般的ではない。両者の意味を区別しているのは OED，それにアメリカの Web. 3 及び WNNCD ぐらいであり，英米を問わず大半の辞書は前者の意味しか載せていない。実際，両者の意味の違いは微妙であり，識別困難な場合が少なくない。従って，小論では特記しない限り区別しないで論を進めることにする。

今日，アメリカ物を読んでいて，‘considering, taking into account, in view of’の意味を表す‘in the light of’の the が脱落した‘in light of’という形に出くわすことは，それほど珍しいことではない。既にこの事実を指摘している辞書・語法書もあるぐらいである。そこで問題となるのは，この‘in light of’という形式はアメリカ英語だけに見られるものなのか，それともイギリス英語にも見られるのか，そしてそれはいつ頃から見られるようになったのか，といった点などである。以下で，英米の辞書・語法書等を手がかりにして，LOB, Brown コーパスにおける実態を観察して見よう。

今日のイギリス系辞書及びイディオム辞典はほとんど全て‘in the light of’という成句を，特別のコメントもレーベルも付さずに記載している。[2] 例外はごく最近の Collins[1,2,3] (1979, ’86, ’91), LDCE[2] (1987), OALD[4] (1989) ぐらいである。Collins は初版 (1979) 以来一貫して‘in(the)light of’

＊九州工業大学教授

1）田島松二・許斐慧二「コンピューター・コーポラ利用による現代英米語法研究(1)－‘prevent me (from) going’と‘prevent my going’－」『英語英文学論叢』（九大）第43集（1993）所収。

という表記の仕方で，theが脱落する可能性を示しているが，特に注記はない。LDCEは初版（1978）の‘in the light of’という表示を，第2版（1987）では‘in the light of *BrE* || in light of *AmE*’に変更し，OALDは第3版(1974)までの‘in the light of’を，第4版（1989）では‘in the light of sth（*US* in light of sth)’と変更している。つまり‘in the light of’はイギリス英語，theのない‘in ligth of’はアメリカ英語というわけである。Collinsが既に1979年の初版で‘in light of’を載せていることと併せて，LDCEとOALDによる表記の変更がいずれも80年代後半であることに注意を喚起しておきたい。このことは，theの有無に関して英米で差があることが80年代には認識されていたことを示しているからである。イギリス系語法書では，わずかにFowler[1,2]（1926，1965）とGreenbaum & Whitcut（1988）がこの成句にふれ，‘in the light of’の代わりの‘in light of’を非正用法としている。尚，記述的立場をとるQuirk et al.（1985，§9.12 n[d]）は，規則的な‘in the light of’の代わりに‘in light of’も時折見られると注記している。

他方，アメリカ系辞書も大半は何の注記も付さず，‘in the light of’のみを成句として挙げているが，[3] AHD[1,2]（1969，1982），RHWCD（1991），WNNCD（1986）は‘in（the）light of’という表記の仕方で，the脱落の可能性を示している。が，特に英米の差に関する注記はない。尚，RHDは初版（1966）の‘in the light of’という表示を，第2版(1987)では‘in（the）light of’に変更している。（ついでながら，最新のカナダ系辞書PCD（1990）も‘in（the）light of’という表記をしている。）語法書では，Fowler[1]（1926）のアメリカ版であるNicholson（1957）が‘in light of’を認めないのは当然として，唯一Copperud(1980)だけがこの成句を取り上げ，正しくは‘in the light of’であるが，無知か不注意のどちらかのせいでtheが落ちる傾向があることを指摘している。

以上，今日の英米の辞書・語法書等から判断して，‘considering, in view of’等の意味の‘in the light of’は英米共に，特にイギリス英語では，theの付いた形が規則的な形である。theの落ちた‘in light of’は最近の，恐らく20世紀後半のアメリカ英語で時折見かけられるようになった用法ということになりそうである。ただし，イギリス英語でも，正用法とは認められないまでも，Collins[1,2,3]（1979，’86，’91）やQuirk et al.（1985）から判断して全く見られない形式ではなさそうである。

では，そもそも‘in the light of’及びtheの落ちた‘in light of’という成句は歴史的にはいつ頃から見られるのであろうか。この問題に手掛かりを与えてくれるのは見たところOEDしかない。（通常歴史的な問題に手掛かりを与えてくれるMED, Jespersen, Visser等にもこの成句に関する言及は全く見られない。）そのOED（s. v. Light sb. 9）は‘in the light of’という成句に2つの意味を区別して，‘（a）with the help afforded by knowledge of (some fact)；(b)in the aspect or character of, viewed as being（so and so)’という意義を与えているが，用例は区別せず，以下のように同一箇所に列挙している。

1749 Fielding *Tom Jones* v. i, Those

2）辞書ではCOD[8]（1990），POD[8]（1992），Penguin[3]（1979），Chambers[7]（1988）等，イディオム辞典ではLDEI(1979),ODCIE（1983），Wood（1967）等を参照。ただし，COBUILD（1987）は‘in the light of’(＝in view of）という見出しの下に3例を引用しているが，そのうち1例は‘in light of’の例である。

3）WNWD[3]（1988），Web.3（1961）等参照。

great judges whose vast strength of genius hath placed them in the light of legislators. 1793 Smeaton *Edystone L.* § 163 In the light of a foremast seaman, he appeared to be quite a Genius. 1834 Macauley in Trevelyan *Life* I. 373, I quite enjoy the thought of appearing in the light of an old hunks who knows on which side his bread is buttered. 1893 *Time* I June 9/5 In the light of all that has been said and done.

合計4例のうち，古いほうから3例はいずれも今日では稀な，OED の挙げる（b）の意味，即ち「...の観点から，...として，...のように」の意味で用いられている。唯一最後の例(1893年の用例)が今日最も一般的な(a)の意味，つまり「...に照らして，...に鑑みて，...を考慮して」の意味で用いられている。最初は，もっぱら今日では稀な意味で用いられていたことがわかり，興味深い。いずれにしろ，この成句自体は比較的新しく18世紀半ば（1749年）に初出し，今日的な意味では19世紀末（1893年）ということになる。(当然，将来初出時期に関する多少の修正はあろうが，例えばシェイクスピアのコンコーダンスを調べてみても用例は見られない。また，残念ながら，OED Suppl. Vol. II [1976] にもこの新しい成句に関する今世紀前半の用例は全く集録されていない。）一方，the の落ちた‘in light of’に関する歴史的な情報は今までのところ皆無である。ただ，この形を最初に挙げているアメリカの辞書 AHD[1] (1969) から判断して，今世紀中頃には，少なくともアメリカではある程度使用されていたのであろう。また，先述の Fowler[1] (1926) で，‘in light of’は‘in the light of’の代わりにはならない，と説明されていることから判断して，今世紀初頭から散見されたのではないかと推測される。

以上のことを念頭におきながら，1961年の言語資料である Brown 及び LOB コーパスで，‘in (the) light of’に関する現代英米語の実態を観察してみよう。

III

Brown, LOB コーパスにおける‘in the light of’，‘in light of’それぞれの分布状況は下の表のとおりである。

質的にも量的にもほぼ均等な英米の両コーパスにそれぞれ20例と23例と，ほぼ同じくらいの頻度で起こっているが，イギリス英語の LOB コーパスでは全20例が‘in the light of’である。しかるに，アメリカ英語の Brown コーパスでは，全23例のうち18例(約78.3%）が the のついた形であり，5例（約21.7%）が the の落ちた形である。‘in the light of’が圧倒的とは言え，‘in light of’が2割強も見られることは注目に値する。以下，例を見てみよう。

〈in the light of〉型。英米共に基本的な型であるので，それぞれ1例ずつ挙げる。

(1) *in the light of* her new understanding, Helen would have dearly liked to take advantage of the moment and wipe out all past trouble between them (LOB N28 177)

(2) Then in 1937 America's Interna-

	in the light of	in light of	
LOB (1961)	20	0	20
Brown (1961)	18	5	23
	38	5	43

tional Council of Religious Education authorized a new revision, *in the light of* expanded knowledge of ancient manuscripts and languages (Brown B12 103)

〈in light of〉型。アメリカ英語の Brown コーパスにのみ5例みられ，イギリス英語の LOB コーパスには全く見られない型。全用例を示そう。

(3) the need that we not give unqualified approval to any but a limited use of economic pressure directed against the actual doers of injustice is clear also *in light of* the fact that White Citizens' Councils seem resolved to maintain segregation mainly by the use of these same means and not ordinarily by physical violence (Brown F48 050)

(4) The enormous changes in world politics have, however, thrown it into confusion, so much so that it is safe to say that all international law is now in need of reexamination and clarification *in light of* the social conditions of the present era (Brown G02 014)

(5) *In light of* all this, one would require special reasons for saying that the paths of the heavenly bodies were other than circular (Brown G30 022)

(6) *In light of* the scholarly reappraisals engendered by the higher criticism this is a most remarkable statement, particularly coming from one who was well known for his antifundamentalist views (Brown G65 048)

(7) This tied in closely with the current attempt to upgrade state-owned cars to the extent that vehicles are not retained beyond the point where maintenance costs (*in light of* depreciation) become excessive (Brown H04 140)

the の脱落した‘in light of’が起こるのは15のジャンル(A－R)のうちの3分野，即ち，Fの‘Popular lore’に1例，Gの‘Belles lettres, biography, essays’に3例，Hの‘Miscellaneous’(政府刊行物，大学カタログ等)に1例である。様々な省略表現を用いる新聞雑誌英語等ではなくて，比較的形式ばった，堅い表現が用いられるジャンルに見られることは注目してよい。

1961年刊行の言語資料に関する限り，LOB コーパスは‘in light of’を正用法と認めない大方のイギリス系辞書・語法書の見解どおりである。他方，Brown コーパスもアメリカ系辞書・語法書の‘in (the) light of’という表記に見られる the 脱落の可能性を裏づけてはいるが，1960年代初めという時点では the の落ちた形‘in light of’はむしろ予想外に少ないと言えよう。というのは，今日では‘in light of’がむしろ優勢であるという印象を我々は持っているからである。[4)]

80年代以降，アメリカ英語では the のない形が確実に増大しており，イギリス英語でも，既に触れたように最近刊の Collins[1,2,3] (1979, '86, '92) や Quirk et al. (1985) がその存在を認める説明や表示の仕方をしていることからして，多少は見られるようになっているのではなかろうか。

4) 共著者のひとり(許斐)が作成した，量的には Brown コーパスにほぼ匹敵する1980年代以降のアメリカ英語コーパスでは，全用例8例のうち‘in light of’6例，‘in the light of’2例といった具合に，the のない形式が遙かに優勢である。

IV

以上,「...を考慮して, ...の観点から」を意味する比較的新しい成句 ‘ in (the) light of ’ における the の出没の問題を, イギリス英語の LOB コーパス, アメリカ英語の Brown コーパスに基づいて検討して来た。1961年という時点でのイギリス英語では ‘ in the light of ’ が唯一の形式であり, the の落ちた形は全くみられない。他方, アメリカ英語では ‘ in the light of ’ が圧倒的ではあるが, the のない ‘ in light of ’ もある程度見られる。しかもこの形は, 最新のイギリス系辞書 OALD[4] (1989), LDCE[2] (1987) のアメリカ英語というレーベル表示にもかかわらず, 今日ではイギリス英語でも散見されるようになり, アメリカ英語では ‘ in the light of ’ に代わって益々一般化しつつあるのではないかと推測される。

参 考 文 献

(以下に挙げる文献は ‘ in (the) light of ’ という成句に多少とも言及したり, 小論で触れたものに限定している。)

ACD = *The American College Dictionary*. New York : Random House, 1962.

AHD[1,2] = *The American Heritage Dictionary of the English Language*. 1st ed. (1969); 2nd ed. (1982). Boston : Houghton Mifflin.

Chambers[7] = *Chambers English Dictionary*. 7th ed(1988). Cambridge & Edinburgh : Chambers.

COD[8] = Concise Oxford Dictionary. 8th ed. (1990). Oxford : Clarendon Press.

Collins[1,2,3] = *Collins English Dictionary*. 1st ed. (1979); 2nd ed. (1986); 3rd ed. (1991). Glasgow : Harper Collins.

COBUILD = *Collins COBUILD English Language Dictionary*. London & Glasgow : Collins , 1987.

Copperud, Roy H. 1980. *American Usage and Style : The Consensus*. New York : Van Nostrand Reinhold Company.

Fowler, Henry W. 1926 & 1965. *A Dictionary of Modern English Usage*. 1st ed. (1926); 2nd ed., rev. by Ernest Gowers (1965). Oxford : Clarendon Press.

Greenbaum, S. and Janet Whitcut. 1988. *Longman Guide to English Usage*. Harlow, Essex : Longman.

Jespersen, Otto. 1909-49. *A Modern English Grammar*. 7 vols. London : George Allen & Unwin.

LDCE[1,2] = *Longman Dictionary of Contemporary English*. 1st ed. (1978) ; 2nd ed. (1987). London : Longman.

LDEI = *Longman Dictionary of English Idioms*. London : Longman, 1979.

MED = *Middle English Dictionary*. Ann Arbor, Mich. : Univ. of Michigan, 1954-.

Nicholson, Margaret. 1957. *A Dictionary of American English Usage*. New York : Oxford University Press.

OALD[3,4] = *Oxford Advanced Learner's Dictionary*. 3rd ed. (1974) ; 4th ed. (1989). Ox-

ford : Oxford University Press.

ODCIE = *Oxford Dictionary of Current Idiomatic English.* Vol. 2. Oxford : Oxford University Press, 1983.

OED = *The Oxford English Dictionary.* Oxford : Clarendon Press, 1933.

OED Suppl. = *The Oxford English Dictionary,* Supplement, Vol. II. Oxford : Clarendon, 1976.

Penguin[3] = *The Penguin English Dictionary.* 3rd ed. (1979). Harmondsworth : Penguin Books.

The Penguin Canadian Dictionary. 1990. Markham, Ontario : Penguin Books Canada.

POD[8] = *The Pocket Oxford Dictionary.* 8th ed. (1992). Oxford : Clarendon Press.

Quirk, Randolph, et. al. 1985. *A Comprehensive Grammar of the English Language.* London : Longman.

RHWCD = *Random House Webster's College Dictionary.* New York: Random House, 1991.

RHD[1,2] = *The Random House Dictionary of the English Language.* 1st ed. (1966); 2nd ed. (1987). New York : Random House.

Visser, F. Th. 1963-73. *An Historical Syntax of the English Language,* 3 parts in 4 vols. Leiden : E. J. Brill.

Web.3 = *Webster's Third New International Dictionary.* Springfield, Mass. : G. C. Merriam, 1961.

WNNCD = *Webster's Ninth New Collegiate Dictionary.* 1986. Springfield, Mass. : Merriam-Webster.

WNWD[3] = *Webster's New World Dictionary.* 3rd College ed. New York : Simon and Schuster, 1988.

Wood, F. T. 1967. *English Prepositional Idioms.* London : Macmillan.